

# 宇宙人っているの！？

令和5年 元旦

「久仁京介かこむ会」

副会長 三谷 勲 人

## 「地球外からの信号探す」

電波望遠鏡を使って宇宙にいる知的生命体からの信号を探す研究があります。

日本で地球外知的生命深査（SETI）に取り組む兵庫県立大・西はりま天文台（同県佐用町）にあります。

X X

「星の数を考えれば、宇宙人はいるに決まっています。いるかないかではなく、どのくらいいるのかが問題です」 私たちの天の川銀河には、千億個を超える星があり、宇宙には観測できる範囲で、2兆個もの銀河があるといわれています。しかし、異星人とのコンタクトを考えると、星の数だけでなく、距離も重要です。天の川銀河だけで、直系10万光年もの大きさを持ちます。

「天の川銀河に文明があったとしても、地球から何百光年も離れていて不思議ではありません」そう考えると、いきなり地球に来る可能性は低そうです。

「合理的な方法は、電波による通信です」。私たちはテレビや携帯電話など、電波を使って情報をやりとりしています。光の速度で通信するので、宇宙船で移動するよりもはるかに効率的です。

知的生命体が意図的に発した電波を受信しようとするSETIは、1960年にはじまりました。77年には、アメリカ・オハイオ州の電波望遠鏡が、72秒間にわたり不思議な電波を捉えました。自然現象と違い、ある特定の周波数のみが強かったそうです。発見者が、驚きのあまり「Wow（ワオ！）」と記録したことから「ワオ信号」と呼ばれています。

「一度しか受信できなかったのに、今も議論が続いていますが、宇宙人からの電波である可能性はのこっています。」

確かな証拠が見つかったときのガイドラインは、国連が承認する組織が定めています。

徹底的に検証すること、隠さずに公表すること、勝手に返信しないことが盛り込まれています。電波でなくレーザー光の検出を目指した観測にも取り組んでいます。レーザー光は電波よりもはるかに多くの情報を送れるそうです。レーザー光による長距離の送受信には、高い技術が必要ですが、相手が高度な文明なら実現可能と予想しています。

「この研究は宇宙人の視点で物事を考えるので、地球人の行動を見つめ直すことにつながる。他の学問とは異なる視点で振り返るところが面白いですね」

今後、世界中で高性能の大型電波望遠鏡による観測が盛んになるそうです。

宇宙人がシャイではなく、たくさくのメッセージをくれる社交的な性格だと

いいですね。！ ～ Φ Σ β